

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、分かりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

3月31日時点

項目	2021年度 3月分	2021年度 累計	
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	13
	専門家派遣	0	8
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	1	114
	車座意見交換会	1	27
■環境再生プラザ (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	3	38
	小中学校など	3	39
	その他	0	9
・移動展示	1 (1日)	43 (46日)	
■その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・内部被ばく検査 (WBC)の支援	1	61	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	4	101	

今月の放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

- ◆住民セミナー ・ 3/9 田村市立大越中学校 (3学年)
- ◆車座意見交換会 ・ 3/4 飯舘村

(環境再生プラザ実施分)

◆専門家派遣

<自治体など>

- ・ 3/9 中島村住民生活課
- ・ 3/10 小野町町民生活課
- ・ 3/30 泉崎村事業課

<小中学校など>

- ・ 3/15 福島市立鳥川小学校 (3学年) *
- ・ 3/16 郡山市立富田西小学校 (3学年) *
- ・ 3/17 郡山市立富田西小学校 (4学年) *

*一部オンラインによる実施

◆移動展示

- ・ 3/1 福島市立福島第一小学校



オンラインで専門家に放射線の基礎について聞く
(3/15・鳥川小学校)



霧箱で放射線の飛跡を観察 (3/15・鳥川小学校)



オンラインで専門家に質問 (3/17・富田西小学校)



個人で霧箱を作成して放射線を観察 (3/17・富田西小学校)